

「あたたかいハート」

聴覚言語障害者が楽しく・安心して生活できる地域づくりをめざしています

「あたたかいハート」は聴覚言語障害者が住み慣れた地域で安心して楽しく生活できることを目指しています。今年度はコロナ禍で例年以上に人との交流が難しくなり、孤独や疎外感が増しました。でも、「あたたかいハート」としては、そのような状況の中でもできることをしようと思いました。密にならないよう、また、消毒や換気に気をつけて、緊急事態宣言が解除されたあと、月に1回以上、手話通訳者を手配して学習会などを開催してきました。今年度は、家の中でもできる運動や防災の取り組みを中心に取り組みました。



専門家による運動指導で
心身のリフレッシュ



防災学習で日頃からの備えが
大事だと痛感



聴覚障害者と
「どこでもシート」を使って
筆談でコミュニケーション

手話にチャレンジ！



お互い近くに住んでいることが
わかってびっくり

防災学習会では、左京区役所の職員や左京区社会福祉協議会のご協力を得て、聴覚言語障害者などが暮らしている学区の自主防災会や社会福祉協議会の方などに参加していただきました。そして、グループ討論のなかで、聴覚言語障害者や支援が必要な方が普段困っていることなど「どこでもシート」に書いたり、身振りや口の形をはっきりゆっくり開けて話したりして、コミュニケーションを取ることを心がけました。参加された方からは「地域住民の一人として、日常的に支援が必要な人のことを考えていくことが大切だと思いました」と感想を寄せていただきました。今後は、もっと地域の方々と一緒に、当たり前のように学べたり交流できたりする場を作っていきたいと思います。